

事業所名

一宮市はとぼっぽ

支援プログラム

作成日

2025 年 2 月 1 日

事業所理念		私たち、特定非営利活動法人一宮市肢体不自由児者父母の会は、肢体不自由児者など、さまざまな障害を持った人に対して、扶助を受けつつも、互助と自助によって自立した人間になることや、自立した生活を送ることのできる社会を構築するための事業を行い、障害の有無にかかわらず、全ての人が、自助と互助と扶助の調和のとれた自立ある生活をおくる事のできる社会の構築に寄与します。		
支援方針		個々のお子さんの健康状態を把握し、情緒の安定や身体的なリラックス状態を図ることを促しながら、発達を促します。 日々療育にあたる保護者に対しては、その役割と適切なかわりの基本を習得し、よりよい親子関係づくりができるように支援します。		
営業時間		9:00～15:00	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	規則正しい生活リズムを整えることを基本とし、食事のとり方や姿勢など一人一人に合った支援を行います。 排泄や着脱を一人ひとりに合った方法で支援すると共に、自分でできることを行おうとする気持ちを育てます。 手洗い・歯磨き・鼻水・よだれの処理など生活に関する場面を繰り返し支援することで、身の回りの世話を受けることを受け入れたり、習慣に繋げていけるように支援します。		
	運動・感覚	生活やいろいろな遊びを通して、身体を動かすことや手足を使うことに関する発達を促します。また、本人の好きな感覚や苦手な感覚を理解し、生活の中に活かしていきます。		
	認知・行動	生活の中の場面ややりとりを通して、運動機能や感覚機能の発達を促します。		
	言語 コミュニケーション	遊びやふれあいなど経験するなかで、人に関心を持ち、安心して自分の気持ちを表現できるように促します。 表情や身振り、言葉だけではなく発声などを使って自分の思いを表現できる方法を共有し、望ましい表現に近づけるよう促します。		
	人間関係 社会性	手遊びやふれあい遊びなどの様々な活動を通して保護者や職員など大人との関係を作ります。 集団生活のなかで友だちを意識したり、人との関わりを楽しんだりする機会を作ります。 日常生活に必要なきまりが身に付くように生活経験の幅を広げるようにします。いろいろな場所に慣れて安心して過ごし、楽しめるように支援します。		
家族支援	個別療育、懇談会、家族参加日、保護者勉強会、保護者の活動（ぼっぽママ）等を通して適切なかわりの基本を習得し、きょうだい児を含む育てへの意識を高めます。	移行支援	地域園交流、地域園体験、学校体験を通して移行先の様子を知るきっかけを作ります。お子さんの様子を共有し移行後の暮らしがスムーズにいくように支援します。	
地域支援・地域連携	希望があれば見学の受け入れや、地域の看護大学の実習の受け入れ、ボランティアの受け入れを実施しています。また、お子さんや家族のインクルージョンが推進されるよう一宮市肢体不自由児者父母の会に参画しています。	職員の質の向上	職員の質の向上を目指し、施設内研修、人材育成研修に参加しています。委員会を設けて虐待防止や、感染症に対する研修、業務継続計画等に会議を開催し周知しています。施設内での日常的に話し合い確認したり、毎月OJTを実施しています。	
主な行事等	運動会、遠足、クリスマス会、ぼっぽママ、ひなまつり、お別れ会、卒園式、身体測定、避難訓練、家族参加日（パパと遊ぼう、きょうだいとあそぼう）			